

# 千葉の園芸

発行所 千葉市中央区市場町1-1  
公益社団法人千葉県園芸協会  
連絡先 043(223)3005  
発行日 毎月1日  
令和3年10月号

## 梨「秋満月」、カラー「Brilliant・Bell」新品種が続々デビュー！

千葉県農林水産部流通販売課  
販売・輸出促進室 主査 石井一成

千葉県が12年かけて開発した梨新品種「秋満月」、10年かけて開発したカラー新品種「Brilliant・Bell」について、県では認知度向上による販売促進と生産拡大に向けた機運の醸成を図るため、各種プロモーションを実施しています。

### 1 新品種の特徴

#### (1) 秋満月（あきみつぎ）

愛称の「秋満月」は、収穫の秋、満月のように大きく実った梨に農家と消費者の喜びと感謝の気持ちを込めて名づけられました。

- ・果実は大きく、果肉は柔らかくなめらかで、果汁はたっぷり
- ・甘みが強く、酸味が少なく、食味はとても良い
- ・日持ちする（収穫から常温で28日）
- ・晩生の品種（9月中旬から収穫できる）

#### (2) Brilliant・Bell（ブリリアント・ベル）

愛称の「Brilliant・Bell」は、白いベルのような花からのイメージで、未来を輝かせる新しい門出に、お祝いの鐘の音が響きますように、という祈りを込めて名づけられました。

- ・花は小ぶりで、ややクリームがかった白色
- ・茎は細く、収穫本数が多い
- ・従来の栽培品種（ウェディングマーチ、アクアホワイイト）よりも収穫開始時期が早い（10月頃から）
- ・カラー生産の大敵である「疫病」に強い
- ・フラワーアレンジメントやブーケに使いやすい



カラー新品種「Brilliant・Bell」

### 2 デビューに合わせたプロモーション活動

#### (1) チーバくんを活用したロゴマークの作成

「秋満月」、「Brilliant・Bell」それぞれの特徴を表現した新たなロゴマークを作成しています。

ロゴマークはリーフレットやポスター等の販促資材に使用するなど、それぞれの愛称と一体的に活用していきます。

#### (2) デビューイベントの開催

「秋満月」は、消費者の認知度向上を図るため、梨の生産が盛んな東葛地域の直売所等でのデビューイベントを予定しています。また、「Brilliant・Bell」は、主要な出荷先である市場関係者や花の実需者の認知度向上を図るため、卸売会社、ブライダル関係者、アレンジメント愛好家等を対象としたデビューイベントを実施する予定です。

※イベントの開催は変更になる可能性があります。

#### (3) 生産者や生産者団体と連携したPR

新品種の特徴を表現・記載したポスター、のぼり、ピンバッジ、シール、リーフレットといった販促資材を作成し、リーフレットは出荷箱に同封するなど、生産者、生産者団体と連携したPRを実施します。



新しく作成した「秋満月」のロゴマークとのぼり

### 3 今後の取組

県では、「秋満月」、「Brilliant・Bell」のデビューをきっかけに、日本一の生産を誇る「千葉の梨」のおいしさ、カラーも含めた「千葉の花」を様々な機会や媒体を活用して多くの方々に知っていただき、その消費拡大に取り組んでいきます。



## 市場関係者インタビュー

千葉県農林水産部 流通販売課  
首都圏マーケティングセンター 主査 小出 香

卸売市場というセリの光景をイメージする方が多いかと思いますが、花きの市場取引において、今は相対取引によるセリ前販売が主流となっています。株式会社大田花きの岡部チームリーダーに、業務の内容や信頼される産地の条件等についてお話を伺いました。

### 1 顧客サポート部門の仕事内容について

当社で主に売買に関わる部署は営業本部の商品部門と顧客サポート部門です。このうち商品部門は主にセリや産地とのやり取りを担当し、顧客サポート部門はセリ前販売を含め買い手（専門店や量販店、仲卸業者など）のお客様への対応を担当しています。

花きは種類が非常に多く、サイズも用途に合わせ様々あります。私の業務は、事前の入荷情報に基づき、産地から出荷されてくる多様な商品と、買い手のニーズとを結びつけ、取引を形成することです。セリ前日は朝から夜までこの対応に追われます。また、それ以外の日はお客様と対話し、需要動向やニーズの把握に努めています。私はチームの統括として、全ての品目、様々な産地の商品に関わっています。

必要な商品を確実に仕入れたい、商品を早く受け取りたいという買い手の要望からセリ前販売が主流となり、当社では入荷量の8割が相対での取引となっています。一方で、セリの価格形成機能も重要です。当社のセリ相場は全国の花き取引の指標として公開されています。

### 2 選ばれる産地とは？

品質・情報・安定、これらが揃っている産地が選ばれる産地と考えます。10本束の1本でも品質が悪ければ、買い手は使いづらい産地と捉えます。また事前の入荷情報で商品があると言ってなかったり、ないと言ってあったりすると、買い手は仕事の組み立てができません。情報の精度が非常に重要となります。

安定とは、数が多い少ないではなく、出荷期間に毎回出荷されるかどうかです。今まではあったが、次はないとなると買い手は安心して購入できなくなります。

### 3 コロナ禍での需要の変化と対応

コロナ禍で葬儀や婚礼などの業務需要の動きが停滞したのに対し、スーパーや専門店などで自宅用に花を購入する動きが顕著となりました。また、花のサブスクリプションといった、毎月決まったタイミングで花が送られてくるようなサービスも増えてきました。こうした動きも見据えて、これまで業務需要に向けて生産されてきた丈の長いものから家庭用に丈の短いものに切り替えるなど、顧客ターゲットを明確にした作付けの取組が今まで以上に必要であると感じています。



(株)大田花き 営業本部 顧客サポート部門  
岡部浩治チームリーダー



# 緑肥による後作野菜のリン酸減肥栽培

千葉県農林総合研究センター  
土壌環境研究室 研究員 宮本 昇

緑肥のすき込み後に後作となる野菜のリン酸を減肥する技術を検討しました。緑肥を導入することで、後作野菜のリン酸肥料を2割減らしても標準施肥量と変わらない収量を得ることができました。今回、キャベツとニンジンの事例を紹介します。

## 1 背景および目的

全国的に農地でリン酸の蓄積が認められており、その有効利用が求められています。これまで緑肥をすき込むことによる肥料効果については十分解明されておらず、特にリン酸の減肥に関する知見は少ないです。今回、夏播きソルガム—冬どりキャベツと春播きエンバク—秋冬ニンジンの作型におけるリン酸減肥技術の開発を目的に試験をしました。

## 2 ソルガム導入によるキャベツのリン酸減肥栽培

可給態リン酸含量 4 mg/100g の土壤に、平成 30 年 5 月 29 日にソルガム「つちたろう (ジャンボ)」、雪印種苗) を播種し、8 月 21 日に草丈 191cm ですき込みました (写真)。緑肥を栽培した区はリン酸肥料のみを 20% 減肥し、緑肥を栽培しなかった区はリン酸肥料を標準の 25 kg/10a 施用しました。9 月 13 日にキャベツ「YR 春系 305 号」(増田採種場) を定植し、12 月 3 日に収穫しました。



写真 すき込み時のソルガム

ソルガムをすき込んでリン酸肥料を 20% 減肥した区のキャベツの収量は、ソルガム無栽培の標準施肥区の収量と差はありませんでした (図 1)。以上のことから、草丈 200 cm 程度のソルガムのすき込みによって、後作キャベツのリン酸 20% 減肥が可能でした。

## 3 エンバク導入によるニンジンのリン酸減肥栽培

可給態リン酸含量 4 mg/100g の土壤に、平成 29 年 2 月 20 日と 3 月 13 日の 2 回に分けてエンバク「ヘイオーツ」(雪印種苗) を播種し、5 月 25 日にすき込みました。すき込んだエンバクの草丈は

2 月播種が 78 cm、3 月播種が 53 cm でした。キャベツと同様に、緑肥を栽培した区はリン酸肥料を 20% 減肥し、緑肥を栽培しなかった区はリン酸肥料を標準の 25 kg/10a 施用しました。7 月 25 日にニンジン「愛紅」(住化農業資材) を播種し、11 月 7 日に収穫しました。

2 月及び 3 月播種のエンバクをすき込んでリン酸肥料を 20% 減肥した区のニンジンの可販収量は、エンバク無栽培の標準施肥区の可販収量と差はありませんでした (図 2)。以上のことから、草丈 50 cm から 80 cm 程度のエンバクのすき込みによって、後作ニンジンのリン酸 20% 減肥が可能でした。

なお、ここで紹介した技術は、農林水産省委託プロジェクト「生産コストの削減に向けた有機質資材の活用技術の開発」で得られた成果の一部です。

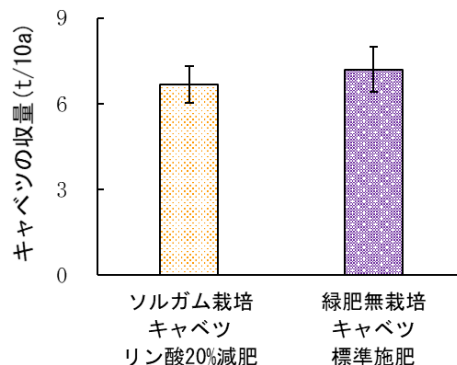


図1 ソルガムすき込み後のキャベツの収量  
注) 図中のバーは標準誤差を示す

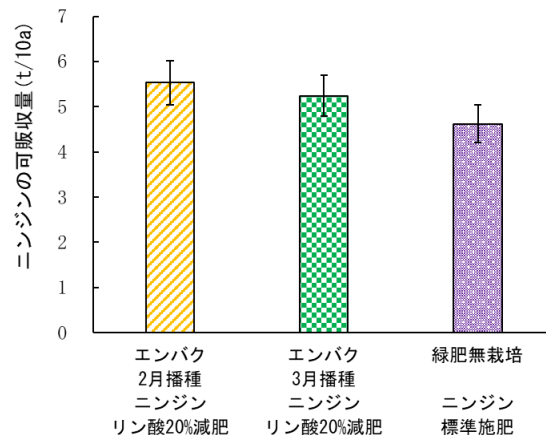


図2 エンバクすき込み後のニンジンの可販収量  
注) 図中のバーは標準誤差を示す

頑張る産地



## いすみブルーベリー振興会の取組

夷隅農業事務所 改良普及課  
普及指導員 伊東 行蔵

夷隅地域では、水田転換畑を利用してブルーベリー生産が行われています。生産者団体であるいすみブルーベリー振興会では、高品質な果実の安定的な生産及び販売による所得の向上を目標に、栽培方法の改善や販路の拡大に取り組んでいます。

### 1 産地の概要

夷隅地域にブルーベリーが導入されたのは、昭和60年に、いすみ市の片岡尉氏が15aの面積にハイブッシュ系品種・ラビットアイ系品種を植え付けたことに始まります。その後、同氏が熱心に栽培者を募ったことで、夷隅地域全体に栽培が広がり、平成15年に「いすみブルーベリー振興会」が発足し、ブルーベリーの生産、加工、販売に関する取組を行っています。現在は会員46名、栽培面積5.6haの産地に成長しました。

### 2 栽培の概要

夷隅地域のブルーベリーは、水田転換畑での栽培が多いため、明渠・暗渠の設置や通気性確保のためのモミガラ投入、高畝栽培など排水性の改善に取り組んでいます。また、樹勢の強いラビットアイ系品種を台木として、良食味・大玉のハイブッシュ系品種を穂木とした接ぎ木更新に取り組んでいます。



針葉樹樹皮栽培の生育状況  
(周囲の金網は獣害避けとして設置)

さらに、新たな栽培方法として、針葉樹の樹皮を30cmの厚さに敷設し、そこに苗木を定植する栽培(以下、針葉樹樹皮栽培)の取組が始まりました(左下写真)。この栽培の最大のメリットは、ほ場の土壌条件に影響されずブルーベリー栽培が可能になることです。

### 3 販路について

市場出荷では、果実の選別、品質の良さで高い評価を得ています。また、直売や摘み取り園のほか、ふるさと納税返礼品、無印良品の店舗販売等様々な販路へ出荷・販売しています。さらに、県内の加工業者と連携して、加工用果実の原料としての出荷など更なる販路の拡大に取り組んでいます。

### 4 今後について

針葉樹樹皮栽培の導入により、夷隅地域に多い水田転換畑や粘質土のほ場での生産性が向上し、今後の収量増加が見込まれます。また、近年若手の新規就農者や定年帰農者等がブルーベリー栽培を始める事例が増えており、産地の発展が期待されます。

さらに、生産量の拡大とともに、新しい販売先の開拓も進めています。



市場出荷されるブルーベリー

頑張る産地



## エンドユーザー目線に立った花き経営を目指して！

香取農業事務所 改良普及課  
普及指導員 菅澤 太地

前林園芸は多古町でアスター、ハボタン等の切り花を生産しています。現在は後継者である前林陽介氏が栽培の中心になっています。以前はシクラメンを主とする鉢花経営を行っていましたが、世代交代にあたり需要に合った切り花品目への転換を行い、安定生産を実現するために日々精進しています。

### 1 経営の変遷

前林園芸は昭和60年頃に鉢花経営を開始し、高品質なシクラメン、アジサイの生産をしていました。当時は堅調な販売を行うことができていましたが、近年の花き需要低下により、後継者の陽介氏は鉢花経営が厳しいと感じるようになりました。

改善策を模索する中で、近隣の切り花生産者や市場関係者と情報交換を行い、需要のある切り花品目を検討するようになりました。

陽介氏は平成20年頃から試験的にアジサイ、ハボタン等の生産を始め、切り花生産者から助言を頂きながら品質改善に取り組むことで、出荷品目を段階的に鉢花から切り花へ転換することができました。

現在は栽培品目の9割が切り花になっています。



前林陽介氏とハボタン

### 2 力を入れていること

#### (1) 栽培管理について

ほかの切り花生産者とは異なり鉢花経営の知識・設備を活かした栽培を行っています。具体的には、1ポットに1株定植し、ベンチに置いて栽培管理を行っています。培土を毎年配合し直すので土壌病害が発生しづらく、作業面でも屈まずに採花できることが特徴です。

メインの品目であるアスターは主に春秋のお彼岸及び7月盆に出荷を行っており、現在も出荷量が増加傾向にあります。効率良く作業

するために生産ラインの機械化を進めており、播種はセルトレイ播種機を、土詰めはポッティングマシーンを活用しています。

#### (2) 組織の販売促進活動への参加

前林氏は県内の花植木生産者で構成されている「ちば花と緑の会」に所属しています。会では毎年、全国の花き市場や販売店等を集めた展示商談会の開催や卸売市場でのフェアへの出展を行っており、前林氏も積極的に会活動へ参加しています。

個人的に市場訪問を行うことも多く、直接市場関係者と会話することで、双方の要望が叶う取引ができるように心掛けています。

### 3 今後について

今後の目標については、引き続き安定生産に向けた技術改善を行っていくことです。特に培土のコントロールができるようになりたいと語っており、定期的にECやpHを見ながら堆肥や施肥量を改良しています。

最近では生産状況の情報発信のために、Facebook等のSNSを活用し始めています。

今後も市場や消費者との情報交換を心掛け、エンドユーザー目線の生産を目指します。



出荷間近のアスター

## 千葉県立農業大学の学園祭 第42回「社稷祭」を開催

しゃしよくさい

千葉県立農業大学校

令和3年11月13日(土)10時～13時「社稷祭」を開催します。

例年、社稷祭には約3,000名の方に御来場いただき、農大の農場で生産した農畜産物の即売をはじめ、研究成果の発表やイベントなどで、にぎわっています。

しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大に加え、本年5月から行われている大規模改修工事により校舎や体育館などが使用できないことから、例年どおりの開催が厳しい状況です。

そこで、今年の社稷祭は、近隣住民の方を対象とした屋外での農畜産物販売、芋掘り体験(有料)のみ実施することとしました。

多くの方に御来場いただけないのは残念ですが、来場者の方に喜んでもらえるよう、学生は丹精込めて作業に励んでいます。

なお、学生の研究成果については、ホームページで公開する予定です。



農畜産物の販売

- 【会場】千葉県立農業大学校  
〒283-0001 東金市家之子1059
- 【問合せ】千葉県立農業大学校  
TEL: 0475-52-5121
- 【千葉農大ホームページ】  
<https://www.pref.chiba.lg.jp/noudai/>

## 幕張新都心「花壇づくりコンテスト」開催結果

千葉県農林水産部生産振興課

夏場の県産花きの活用促進を目的に、幕張新都心エリアの11企業・団体と連携した「花壇づくりコンテスト」を7月中旬から9月上旬まで開催しました。本コンテストは、今年で6年目を迎えました。

参加企業・団体は、県内生産者から配付されたペチュニア、ニチニチソウ、ペンタス、ジニア、コリウス、マリーゴールドなどの県産花苗を使い、施設のエントランス付近等に色とりどりの花壇を作成し、管理してきました。

審査は、生産者団体、有識者などから選出された審査員により、花壇のデザイン性、花壇の管理状況、生育状況、取り組み姿勢を審査し、以下の結果となりました。

最優秀賞の三井アウトレットパーク幕張の花壇については、審査員から「高さ、配色のバランスを考慮して配置されており、長く鑑賞できるよう丁寧に管理されている。」との評価がありました。

### 審査結果

参加団体名	賞名
三井アウトレットパーク幕張	最優秀賞
株式会社幕張テクノガーデン	優秀賞
ホテル ザ・マンハッタン	優良賞
アパホテル&リゾート東京ベイ幕張	奨励賞 (五十音順)
株式会社かねたや家具店	
セイコーインスツル株式会社	
千葉市幕張勤労市民プラザ	
富士通株式会社	
ホテルニューオータニ幕張	
ホテルグリーンタワー幕張	
幕張ベイタウン商店街振興組合	



最優秀賞 三井アウトレットパーク幕張の花壇